

受水槽、高置水槽等清掃業務

別紙8

1 業務場所

埼玉県熊谷市板井1696、1659-1及び熊谷市末広2丁目29番地
埼玉県立循環器・呼吸器病センター及び医療職員宿舎

2 業務対象設備及び清掃回数

(1) 受水槽

本館棟水道用	FRP50トン	2基	年1回(センター)
治療棟水道用	FRP20トン	1基	年1回(センター)
水洗用等	RC100トン	1基	年1回(センター)
A病棟水道用	FRP20トン	1基	年1回(センター)
宿舎水道用	鋼板製20トン	1基	年1回(医療職員宿舎江南)
宿舎水道用	鋼板製10トン	1基	年1回(医療職員宿舎熊谷)
実験検査棟	FRP2.4トン	1基	年1回
新館棟用	鋼板製50トン	1基	年1回
洗濯棟水道用	鋼板製30トン	1基	年1回(センター)

(2) 高置水槽

本館棟水道用	FRP15トン	1基	年1回(センター)
治療棟水道用	FRP 6トン	1基	年1回(センター)
水栓用等	RC 11トン	1基	年1回(センター)
A病棟水道用	FRP 7トン	1基	年1回(センター)
宿舎水道用	畜圧式圧力水槽3トン	1基	年1回(医療職員宿舎熊谷)

(3) 防火用貯水槽

本館棟等	RC16~80トン	全11基	年1回(センター)
------	-----------	------	-----------

なお、年度毎に、持ち回りで1基ずつ行う。

3 清掃方法

- (1) 作業現場ごとに、作業衣及び作業器具は、清潔な状態で行う。
- (2) 清掃前に、受水槽内の残留塩素を測定する。
- (3) 受水槽及び高置水槽は、槽内の水を排水し、沈殿物及び壁面等の付着物を除去し、槽内全体を水洗いする。
- (4) 受水槽及び高置水槽の亀裂の有無、ポンプ及び止水弁の点検を行う。
- (5) 清掃終了後、次亜塩素酸ソーダ溶液で槽内を消毒し、残水は完全に排水する。
- (6) 受水槽及び高置水槽の水張り終了後、ポンプ等の作動試験を行う。
- (7) 清掃終了後、水栓等により、残留塩素の測定を行い、ビル管理法に基づく水質検査を行う。

4 実施計画表及び業務完了報告書の提出

乙は、実施計画表を速やかに提出すること。また、業務完了後は、完了報告書に写真及び必要書類を添えて提出すること。

5 負担区分

- (1) 清掃に必要な電力及び用水は甲の負担とする。
- (2) 清掃に必要な用具、薬品及び用紙類等の消耗品は、乙の負担とする。